

our code

岩崎正嗣・幸村真佐男・大原奈緒子・鈴木昭男・宮北裕美

IWASAKI Masashi, KOHMURA Masao, OHARA Naoko,

SUZUKI Akio, MIYAKITA Hiromi

2022年9月3日(土)～18日(日) 開廊時間:13～19時 *最終日のみ17時まで

休廊:月曜・火曜

● 鈴木昭男・宮北裕美オープニングパフォーマンス

9月2日(金) 時間:19-20:00 会場:ヴォイスギャラリー周辺

*予約制・20名まで・入場無料 *ご予約フォームと詳細は、QRコードよりお確かめください。



協力:中京大学工学部メディア工学科

企画:上芝智裕

京都市 連携・協働型文化芸術支援制度補助金 Arts Aid Kyoto 採択事業

www.voicegallery.org

3-18 September, 2022

*closed on Mondays and Tuesdays

*gallery hours from Wednesday to Sunday from 13:00 to 19:00,

Until 17:00 on the last day

● SUZUKI Akio/MIYAKITA Hiromi Opening Performance

Fri. 2 September time: 19-20:00 venue: near VOICE GALLERY

*Reservation required, up to 20 parson, admission free

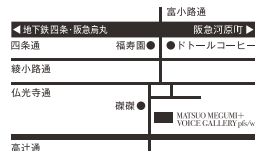
*Please check the reservation form and details from the QR code.

support: Chukyo University Faculty of Engineering Department of Media Engineering

coordination: UESHIBA Tomohiro



デザイン:UMMM



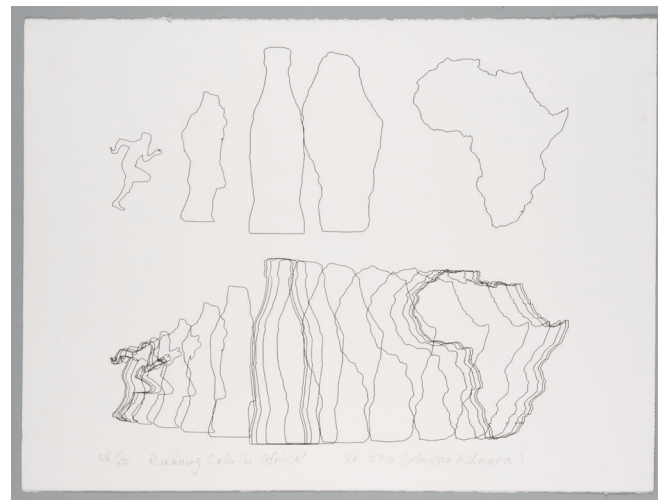
MATSUO MEGUMI +
VOICE GALLERY pfs/w

〒600-8061 京都市下京区富小路通

高辻上る筋屋町 147-1

147-1, Sujija-cho, Tominokoji-Takatsuji-agaru,
Shimogyo-ku, Kyoto-city, 600-8061

Tel.075-341-0222



our code

IWASAKI Masashi

KOHMURA Masao

OHARA Naoko

SUZUKI Akio

MIYAKITA Hiromi

MATSUO MEGUMI +
VOICE GALLERY pfs/w



学生の頃、ヴォイスギャラリーでグループ展をしてから30年以上が経ちました。幸村眞佐男先生の元でCGを学んでから、メディアアート制作に夢中になっていきましたが、PCの性能が向上し、インターネットやスマートフォンがコモディティ化する頃にはコンピュータで作品を作ることから興味が薄れ始めていました。

そんな頃、幸村先生の紹介で鈴木昭男先生に出会い、繊細で微かな音を操るライブパフォーマンスを五感で経験しながら、美術史を辿り直すように自分の中で鑑賞や作品の概念は拡張されていきました。

古来より身体を使って表現をしてきた人類の歴史に比べると、エレクトロニクスやコンピューティングによる表現は時間的にはまだ始まったばかりのようであり、その多様性を見る限り充分成熟したようにも見えます。

そんな今改めて我々の活動の源流を築いた2名の恩師、「日本で初めてのコンピュータ・アート・グループを結成」した幸村眞佐男と「日本のサウンド・インсталレーションのバイオニアの一人」といわれる鈴木昭男に焦点を当て、それぞれから薫陶を受けた若い世代の作家3名を加えたグループ展を開催します。

それぞれプログラミング言語、身体言語、ファッション言語を駆使して活躍する2つの世代の作家たちの作品から見える、今日における私たちの文化的コードとは何か？ぜひ多くの方にお運びいただき、過去から現在を經由してつながるこれからの30年を想像し議論できる機会にしたいと思います。

上芝智裕

表紙画像：

幸村眞佐男 KOHMURA Masao (CTG) "Running Cola is Africa"

1968年 / 57×77cm / シルクスクリーン

*CTG=Computer Technique Group

photo by FUTAZUKA Kazuaki 二塚一徹

中面画像：

鈴木昭男+宮北裕美 (2019年東京都現代美術館)

SUZUKI Akio+MIYAKITA Hiromi (2019 / MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO)

photo by Atsushi Koyama